

中原消防団 広報誌

第 7 号
発行 平成 21 年 2 月
題字 中 田 隆

翔太



カラーガード隊「レッド・ウイングス」の演技

平成 21 年 中原地区消防出初式

平成 21 年 1 月 7 日(日)
等々力緑地催物広場



一斉放水

”年頭にゆせて”



中原消防団長
大谷 正勝

新年おめでとうございます。みな様におかれましては、明るく輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、私達「中原区」の人口は今年度中には二十三万人に迫ろうとしています。その一方で災害に対する備えはどうかなのでしょう。か。災害に強い町づくりは、決して建物だけが強固であればよいということではありません。

地域の防災の中核として



中原消防署長
本田 義雄

あけましておめでとうございます。中原消防団員、そしてご家族の皆様におかれましては、揃って希望に満ちた平成二十一年の新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

年頭にあたりまして、団員各位には、平素の地域に密着した献身的なご活躍とご労苦に対しまして、改めて敬意を表し深く感謝申し上げます。さて、新春恒例でありま

ません。私達一人一人が、防災に関心を持ち、有事の際には、いかにしてその災害に対処することが出来るかが、重要であると思います。阪神淡路大震災から、十数年を経過し、その後も国内で局地的な震災が発生して、甚大な被害を与えています。これらの災害に対しては、公的な防災力のみでは自ずと限界があると思われ。阪神淡路大震災の際に、建物倒壊から助命された人々の八割が地域の住民の手によるものであったということからも実証できると思います。

この様な観点から、今後は更に私達消防団は、地域す中原地区消防出初式の開催にあたりましては、団員皆様のご協力を頂きまして、臨席されましたご来賓、そして区民の皆様、遺憾なく消防力を披露することができ、誠に素晴らしい式典となりました。区民の皆様にも中原消防署・中原消防団の威信を、感じとって頂けたことと思います。

私は、この式典で消防職・団員を代表しまして「災害に強い街」をつくることを約束しました。地域総合防災力の充実を図るためには、地域防災の中核的存在であります消防団の充実強化は、喫緊の課題であります。我々消防職員も、二十二万中原区

の自主防災組織と協力して、その体制をより強固なものにすることが重要であると考えています。この様な防災に対する必要性を、多くの方に広く認識をしていただき、地域防災の組織を盤石な形になる様にお互いに努力しなければならぬと思います。

今年も私達中原消防団は、災害のない町づくりを目指し全力を尽す様頑張りますので、皆様方のお一層のご支援をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



園児へ記念品の贈呈

民の信頼と負託に応えられるよう頑張っております。ので、どうか団員の皆様も新たな決意のもと、崇高な使命を胸に、そして郷土愛に燃えて、地域安寧のために頑張ってくださいと存じます。

最後に、今年も災害の少ない年でありまして、各位に祈念するとともに、各位におかれましては、今年一年間健康に留意され、大谷団長を中心として、益々躍進されることを期待致しまして、年頭の挨拶と致します。今年も宜しくお願い致します。

女性消防団員が

初の応急手当指導員に！

このたび中原消防団の女性消防団員四名が、川崎市内で消防職員以外では初の応急手当指導員の資格を得しました。

指導が好評で、緊張がほぐれ非常にわかりやすく、実習ができたとの意見が多く聞かれました。
また、女性団員の存在をはじめて知る方も多く、地域に密着した消防団の活動についても広く理解してもらうことが出来ました。

四名の女性消防団員は、地域の防災行事力が少しでも高まればと、市民からの救命講習の依頼に対して、我々消防職員とともに救命講習会へ積極的に参加して活動を行っています。

中原消防署
救急係長 消防司令
田中 信一

受講者からは、女性特有のきめ細やかな配慮をした



▶ 神地防災訓練
テレビ東京の取材を受ける
(二月十一日放映)



▶ 下沼部町内会
防災訓練での講習



▶ 本月一丁目町会で
心肺蘇生とAEDの指導



▶ すみのえ幼稚園
テレビ神奈川の取材
(二月七日放映)

団員の奥様パワー

わが下沼部班の団員は殆どが自営業。仕入れや配達など外回りがなければ家(店)でのしごととなる。火災や訓練、行事などで出勤の時は女房に店番、接客などを託して飛び出す。つまり奥様の協力こそが我々が心おきなく消防活動できる絶対条件であることから、日頃の感謝と罪ほろぼしを兼ね、地元酒落たイタリアンレストランで奥様同伴の親睦会を開きました。

団員どうしは長年のつきあいので、奥様が知れているもの、奥様どうしは同じ町内とはいえ、会っても挨拶する程度。それが今回のテーマだった「夫が飛び出したあとの店番と家事の両立」から、子ども、孫の話しま

で共通の話題も多く、ワインも空けて和気あいあい、大いに盛り上がりました。
しまいは、奥様方も自分の亭主の体力の低下を身近に一番実感して？いるだけに、年々団員の平均年齢が上がると若者の地元意識が薄れるなか、どうしたらスムーズに新旧交代が行われ、班の若返りと活性化が図れるかまで話しが及びました。皆さん消防団活動の将来のことまで真剣に考えてくれていたのが分かる大変有意義な会でした。

ガンバレ!!
玉川分団!!



列伝 分団の人気者



丸子分団
佐藤 仁 団員

佐藤仁(さとう ひとし) 団員、通称「ジン」！
一見強面(こわもて)の彼だが、とてもシャイな面

を持つのです。カメラを向けると恥ずかしがって下を向いてしまう。減多に撮れない貴重な正面写真です。同世代の女性の事はわからないですが、年上の女性、特に我が分団の幹部夫人たちには「笑顔がなんとも可愛い」と絶大な人気を誇る。そんな面の反面、ガッツがある所も魅力の一つです。今年の消防大会も操法選手候補。負けず嫌いな面も持つので、皆さんも注目してくださいね！



にこやかに記念撮影



食事をしながら談笑

年頭にあたり

消防団員としての意識



分団長 三上 能樹

二〇〇九年一月で分団長に任命されて一年がたち、この間、分団長として自分に何が出来るか、どうすれば良いか自問自答しているうちに早一年がたち時の流れの速さを感じます。昨年、消防大会において納得のいく成績が残せなかつ

「消防操法の重要性」

中原分団部長 鳥田 敏行

た事を深く反省し大会終了後から早速訓練に入りました。団員の方々には迷惑だと思いましたがこれも分団の為、団員自身の為と思いい団員としての自覚と誇り、そして自信を持つ事によって団員の消防団に対する意識改革を前提とした訓練に取り組みました。消防団とは何なのか、団員としての役割を考えて行動に移せる様にして地域の安全と安心を守り地域の方々との連携をしっかりと取って行きたいと考えております。今後の住吉分団は今までとは少し違ったプロ意識を持つた団員の育成に心掛けたいと考えています。



お店にて子供たち

私が消防団に入団いたしましたして、早いもので二十年の歳月が経ち、消防団員としての自覚が身につけてまいりました。今、中原分団では、人員不足が懸念されている中、新入団員の方々に消防団に対しての自覚認識を持つて戴くために、消防活動の際の基本となる小型ポンプ操法を新入団員の方々に修得して戴くために、率先して選手として参加をお願いしております。「小型ポンプ操法とは」指揮者以下四名で編成し、小

住吉分団

四年生の授業へ

東住吉小学校へ



放水！ みんな楽しそう



水消水器の体験

型ポンプを用い一本二十メートルのホース三本を延長し、放水・火点を倒すまでのこととです。指揮者命令のもと節度ある行動力や伝達力が身に付き、選手四名がチームワークを作り任務を遂行する競技です。

中原分団では、昨年の中原区の大会では、第三位、また、九月に行なわれた川崎市大会で敢闘賞五位の好成績をあげることができました。そして今年もスタートしました。六月にむけて行われる中原区の大会では、上位入賞を目指し、迅速・確実・安全にをモットーに



川崎市大会での中原分団

訓練に参加して戴き、小型ポンプ操法を修得され、地域の安全安心を守るため訓練に当って行き、より一層地域の方々へ信頼される消防団中原分団として活動をして行きたいと思えます。中原分団では新入団員の募集しております。



消防団協力事業所表示制度

株総合防災 峯岸 雅宏

昨年 11 月 10 日（月）に川崎市消防局 4 階講堂にて川崎市消防団協力事業所表示証の交付式が行われ川崎市市内の 82 事業所が表示証の交付を受けました。

この制度とは事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度でこのたび表示証の交付を受けた一事業所として、これからも事業を通じて地元地域に消防、防災、防犯の面で協力をしていこうと思います。当社は私を含め 3 人の消防団員が消防団活動しております。



消防団協力事業所表示証



ある日のつぶやき。 大戸分団部長 井上 武

訓練をあげ笑うかのような雨だった。当日は汗と涙の長期では家族も加わり黄色い声援が飛ぶ、その中に何故か私の母も。 小隊発進、雨音にすべてを飲み込まれてしまいうな緊張が走る、学徒出陣の感があり声を限りの号令であった。テントの中では母が隣の婦人に語る「息子は、あんな大きな声を出すような子ではないんです、よほど練習をしたのでしよう」と。勝敗の結果はともかくとして、後日人づてにその話を聞いた私のつぶやき 「まったく、もお」

大戸分団が最優秀賞

川崎市消防団操法大会
平成20年9月14日(日)



後列左ヨリ 大谷団長・田中副団長・小宮班長
内藤班長・国友団員①・本田署長
前列左ヨリ 原団員③・高橋団員②・内藤副分団長(指)
布施分団長

果敢に挑む



大戸分団 分団長
布施 行雄

平成二十年度川崎市操法大会において最優秀賞を獲得する事ができました。これも偏に関係各位や諸先輩の方々そして団員家族の皆様支えに支えられての偉業達成と心より感謝致します。さて、十九年度の中原消

防大会は最下位に終わり落胆の極みであった。しかし、これが反って奮起の切っ掛けとなり、出場するからには勝つという選手たちの挑む気持ちとなった。指揮者の内藤正美副分団長は「一度は川崎市大会に出場してみたい」そんなやる思いがマグマのように湧き上がり、この日の為に日々走り込んでいた。一番員の国友英壯団員は走り定評があり役員全員

の推挙、快諾があった。寡黙でひたむきな訓練の様子

は勝ちを予感させた。一番員の 高橋則広団員はムードメーカーである。川崎市大会出場指名を密かに待ち受けていた。彼は訓練中の指摘を素直に吸収する。いける！を実感する。三番員の原正俊団員は二年連続出場となる。昨年の結果は最下位だ。いまだに納得がいかない。蓄積された不満感とリベンジしたい気持ちと同時に進行していた。そして四人の考えは一つになった。川崎大会に出場する為には、まず中原大会で優勝しなければならぬ。その秘訣は明確な指導態勢と全幅の信頼がおける指導員にある。決して威張らない、周りの者は余計な口出しをしない。選手を萎縮させず互いに納得できる指導を心がける事だった。一般競技も同様で、時間をかけて丁寧に修得させた結果が全競技優勝をもたらした。そして川崎市大会に向けての訓練が再開した。目指すは最優秀賞だ、標語は「一体感」。訓練の中で不得手の部分については時間をかけて指導する。雨天の場合は訓練ビデオを検証しながら

ピザを頼張った。

満を持して九月十四日を迎えた。奮闘の結果、得点八十七で優勝を獲得することができた。選手や団員、応援してくれた人々に感謝をした感動と涙の一日だった。消防団は弛まぬ訓練によって火災、地震、災害に対応しなくてはならないの



上小田中班に配備された積載車

消防豆知識 住宅用火災警報器について

住宅用火災警報器の設置が法律によって義務づけられました。各市町村条例により平成20年6月1日から平成23年6月1日の間で設置の完了期日が定められています。設置する部屋は①寝室(煙式)、②階段(煙式)、③台所(熱式)の設置が必要となります。住宅用火災警報器はホームセンターなどでも売っていますが、出来れば日本製のNSマーク付きの物をお勧めいたします。



わがまちを守る!! 消防団員募集中

消防団員とは 消防団員は自分の仕事をしながら、地域の安全を守るため火災、水害、救急救護などに従事するボランティアです。郷土を愛する崇高な奉仕者で、身分は特別職の地方公務員です。

- ### 消防団員のしごと
- ① 火災・水災・地震などの現場活動
 - ② 火災予防広報・警備
 - ③ 地域住民の防災教育・訓練等

中原消防団 では250人の仲間があなたの入団を待っています。
お問い合わせ先
中原消防団本団(中原消防署内)
TEL 044-411-0119



編集後記

中原消防団広報誌「翔太」第7号をお届けします。発行にあたり、ご協力に深く感謝致します。

発行責任者	大谷 正勝
編集	中原消防団広報部
広報部長	小島 光儀
中原分団	野口 俊明
大戸分団	峯岸 雅宏
住吉分団	井上 武
玉川分団	鹿島 秀樹
横山分団	横山 芳春
田口分団	田口 眞弓
横山分団	横山 哲夫
若島分団	若島 稔
石井分団	石井 克枝
畑分団	畑 昭仁
写真撮影	(写真撮影)